



Kagawa Cyber Security Information

香川県サイバーセキュリティ連絡ネットワーク通信 Vol. 7

平成 27 年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢について

警察庁が昨年のサイバー空間の脅威をまとめた「平成27年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢について」がインターネット上 (<http://www.npa.go.jp/cyber/statics/>) に公開されました。平成27年に報告を受けた標的型メール攻撃への特徴やその対応方法などを掲載しており、各組織内での情報共有や教養資料として同資料が活用されれば幸いです。

同資料「標的型メール攻撃」内容の抜粋

【平成 27 年中の特徴】

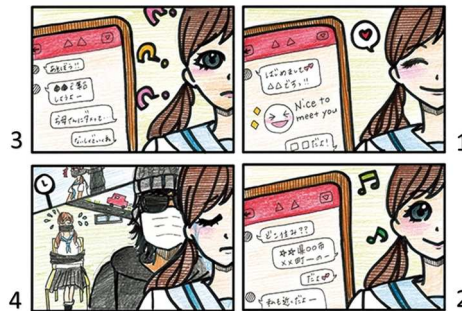
- 3,828 件と過去最多の標的型メールの報告を受けた
- 品物の発送代金の請求等、業務上の連絡を装った「ばらまき型」型攻撃が約 92%
- 標的型メールに Word 文書を添付した攻撃が約 53%
- インターネット上などに公開していないメールアドレスも攻撃
- 送信元メールアドレスが偽装されている



【標的型メール攻撃の概要】

【被害防止対策】

- 不審なメールを安易に開封しない
- 端末やサーバに導入しているソフトウェアを最新の状態に維持する
- 送信元メールアドレスを偽装する手口への対策として、SPF 等の送信ドメイン認証技術の導入



第 11 回 IPA 情報セキュリティ コンクール受賞作品

情報は
一度出したら
戻らない